

ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）研修訪問記

岐阜県岐阜市 私立長良保育園 2014年4月27日

ピラミーデ認定園最終講義です。

長良保育園は長年異年齢保育の実績を持っておられます。

園舎全体が木のぬくもりが漂い、家庭的な落ち着きのある保育園です。

玄関先に素敵な椅子が置かれています。誕生日を迎えた子どもが座るイスです。ドイツのモンテッソーリ保育園でも見かけたことがありました。

誕生日は子どもの人生の節目です。

将来への期待感と希望を持たせる意味でも面白いアイデアです。



子どもが帰った後の保育室も秩序正しく維持されています。



保護者向けのプレゼンテーション



最終回の講義はポートフォリオといわれる子どもの評価法です。ポートフォリオという言葉は、経済学で使われる言葉で、一家の大切な書類、預金通帳、家の権利書等をひとまとめにして保管することを意味しています。それを保育の言葉として使います。

子どもの独自の能力評価としてポートフォリオによる評価法の注目



子どもの能力は比べるテストで行うのが一般的ですが、これはあくまでも平均的な相対評価です。子ども独自の能力評価ではありません、それでは、子ども独自の評価はどのようにすればいいのでしょうか。子どもの作った作品、言葉、映像をひとまとめにして、一定の時間の経過ごとに評価する方法です。

作品は子どもの発達を表しています

作品は、子ども一人ひとりの発達を示し、その過程をたどることができるので、保存する価値があります。



ピラミーデ (ピラミッド・メソッド) 国際認定園プレートを園長先生にお渡ししました。ピラミーデ認定園資格獲得には、オランダ・ドイツのトレーナ (大学院学位修士号・博士号修得者) による二日間の講義、さらに辻井正 (ピラミーデ「ピラミッド・メソッド」講義資格者) による三日間の講義が義務付けられています。私の大きな責任を果たしました。





私は Cito(旧オランダ王立教育評価機構)から、日本でピラミーデ(ピラミッド・メソッド)講義資格者として、公認された責任の重さをますます感じています。ピラミーデ(ピラミッド・メソッド)を座学的に講義して認定書を渡すのではなくて、実際の保育園や幼稚園に足を運んで、全ての先生方に講義を聞いていただくやり方を続けて、それぞれの園や先生方と親密な関係を持たせていただき、ピラミーデの教育理念が受け入れられている手ごたえを感じています。

